

# 平井川流域連絡会（第7期）第4回全体会

## 議事録

日時：平成26年3月10日（月） 午後2時～午後5時

場所：あきる野ルピア3階（研修室）

### 委員出席者

座長

公募委員 6名

行政委員 2名

### 次第

#### 1. 開 会

#### 2. 視察、意見交換

(1) 平井川整備工事（その30）現場視察  
（瀬戸岡御堂橋上流）

(2) 意見交換

- ・第7期（後期）活動報告
- ・平成26年度平井川環境調査の予定
- ・その他

#### 3. 閉 会

### 配布資料

- |                    |      |
|--------------------|------|
| ・平井川整備工事（その30）について | 資料－1 |
| ・第7期（後期）活動報告       | 資料－2 |
| ・平成26年度環境調査予定      | 資料－3 |
| ・平井川整備工事（観音橋上下流）   | 資料－4 |
| ・第2回小委員会の議事概要      | 資料－5 |

## 1. 開会

○事務局

時間になりましたので、全体会を始めさせていただきます。今日は寒い中、現場視察の方もご苦労様でした。今回はチガヤマット制作会社の担当の方にも我々がどんなことをやっているのか等わかっていただけたらと思って全体会にお呼びしております。よろしくお願いします。

それでは資料の方ですが、資料1は現場視察でお配りしました平井川整備工事（その30）についてです。資料2は第7期（後期）活動報告、資料3は平成26年度環境調査予定、資料4は平井川整備工事（観音橋上下流）、資料5は第2回小委員会の議事概要となっております。

それでは座長の方に回したいと思います。よろしくお願いします。

## 2. 視察、意見交換

### （1）平井川整備工事（その30）現場視察

○座長

皆様、寒い中お疲れ様でした。それでは早速議題の方に入っていきたいと思います。2番①の平井川整備工事（その30）の現場視察を行って、何かありますでしょうか。

○市民委員

せっかくチガヤマット制作会社の担当の方がお見えなのでお聞きしたいのですが、チガヤについてですが、年に1回刈った方がいいと思うのですが、刈る時期が変な時期だとチガヤへのダメージがあると思うのですが、適正な時期があるのでしたら教えていただきたい。

○製作会社

年に1回刈るのであれば、秋口の草が枯れる前くらいが1番いいと思います。年に2回刈るのであれば、穂が出た後、暑くなる前に、6月終わりくらいに刈って秋口でちょうど成長が終わった辺りでもう一度刈ると成長に対してそれを阻害することはないと思います。

○市民委員

西建さんの方でいつも管理用通路の草刈をしていただいていると思いますが、今チガヤマット制作会社の担当の方が言われた時期に合わせて草刈をするということはできるのでしょうか。

- 事務局　　ちょっと今日は維持担当が来ていないので。通常は夏頃刈っていたと思います。今日出された意見については維持担当の方に伝えておきます。
- 座長　　私から質問もおかしいですが、秋口とは具体的に何月頃でしょうか。
- 製作会社　　だいたい10月末から11月くらいです。
- 座長　　はい。わかりました。
- 市民委員　　すみません。それはどっちかでいってことではないですよ。1回だったら10月の終わり、2回だったら6月の穂が出た後と10月に刈れば良いということですよ。
- 製作会社　　そうですね。
- 事務局　　穂が出た後というのは何か理由があるのでしょうか。
- 製作会社　　一度穂が出て成長が止まるので、そこで刈り取るといいです。特に夏場の暑い時期に刈り取ってしまうのはよくないです。
- 事務局　　種をつけさせてしまうと良くないということですか。
- 製作会社　　いえ、種をつける時がちょうど成長が止まる時期なので、その時に刈り取ると成長が止まっているため良いのですが、これから伸びようとする時に刈り取ってしまうと成長を阻害して個体が弱くなってしまいます。
- 事務局　　穂をつけて再度成長するものなのですか。
- 製作会社　　そうですね。穂を出して種を出しますので、その後夏場にかけてまた伸び出してくるという形ですね。
- 市民委員　　通常の8月とか夏場に刈るのはチガヤには良くないということですね。

- 製作会社 はい。
- 事務局 それは根っこを傷めるからとか地温を上げてしまうからとかそういうことですか。
- 製作会社 根っこを傷めるからとかではなくて、成長の段階で刈り取ってしまうと翌年の成長があまり良くないんです。
- 事務局 わかりました。
- 市民委員 チガヤは始めたばかりなので少し様子を見た方が良いと思いますけどね。まだ安定、定着していないでしょうし、最初は刈らなくてもいいんじゃないですかね。
- 座長 そこら辺はどうでしょうか。
- 製作会社 そうですね。やはり定着する1年目は成長があまり良くないです。定着していないので。そういった意味では環境に馴染む2年目の方が刈り取りを行うには良いと思います。
- 座長 他に何かありますか。それでは特にないようですので、現場視察についてのご意見ということで承ります。

## (2) 意見交換

### ①第7期（後期）活動報告

- 座長 意見交換の方に移ります。今日で第7期の後期、最終の会ということですので、今年度後期の活動の報告について事務局からお願いします。
- 事務局 それでは後期の活動報告ということで資料2を使って簡単に振り返っていきたいと思います。  
第1回全体会の1番に委員公募の報告・委員の紹介とありますが、すみません、これは誤植でして委員の公募は前期の方で説明しています。委員の紹介を平成25年6月25日にご説明させていただいたのは、行政委員の人事異動で行政委員の方3

名に入れ替わりがありましたので、この3名の方の紹介をさせていただきます。

2番目ですが、第7期の後期のスタートにあたりまして、活動予定についてご提案をさせていただきました。

3番目ですが、平成24年度環境調査の結果の報告をさせていただきました。その際に委員の皆さんからいただいた意見は黒丸(●)で示してあります。内容は省略します。

4番目として平成26、27年度の整備計画についてということで、これは観音橋の上下流の区間の整備予定、概要をご説明させていただきました。

5番のその他は、春先に秋川のチガヤの種を●●委員、●●委員、それから西建の方でも種を採取して、それをチガヤマット製作会社の方に持ち込んで、チガヤマットを作っていただくことよりチガヤの採取した状況、今後の流れなどを説明させていただきました。

それから第1回勉強会ですが、8月1日に開催させていただきました。現地視察ということで、平成25年度工事区間である瀬戸岡御堂橋の上流右岸の工事着手前を左岸側の堤防の上から見ていただきました。その後に観音橋の上下流の区間を見ていただき、地元の尾崎会館をお借りして意見交換会を行いました。主な意見は下に記しております黒丸の部分で、平成25年度工事区間についての意見として、植生の移植や植生マット等についての意見を頂戴しました。それから平成26年度から27年度工事区間についてということで委員の皆様から出た意見をまとめました。特にこの中では、観音橋上下流については左右岸同時施工ということで、これまでのルールとやり方が違うということで色々と意見をいただき、その後の小委員会等々で議論をしました。

第1回小委員会は10月の9日に開催させていただきました。まず、平成26、27年度工事箇所である観音橋上下流についてさらに詳細な説明をさせていただきました。主な意見としましては、やはり観音橋上下流の左右岸同時施工についてさらに深く様々な意見をいただきました。それからしゅんせつ工事についてということで、これまでのしゅんせつ工事より規模が大きいということで、流連の委員の皆様には平井川の落合橋の上流区間のしゅんせつ工事について説明をさせていただきました。この

際に出た主な意見として黒丸で示してあります。それから、その他として事務局からツルヨシの復元についてということと、今まで流連委員に配布してきた流連資料の取り扱いについてということで、一定のルールを決めたということで、第三者に流連の資料を渡してほしくないという資料については、右上に取り扱い注意と表示をさせていただきました。これは今後の工事予定がわかるものや環境調査の関係の資料を対象にして、これらを取り扱い注意とするということで委員の皆さんからご承諾をいただきました。

第2回勉強会を12月10日に開催しました。これは平成25年度から平成27年度施工予定である平井川しゅんせつ工事の現場の落合橋付近を見ていただきました。その後あきる野ルピアに移動して意見交換会を行いました。主な意見としては、中州の部分はツルヨシがあつて、復元として表土を戻してほしいという意見がありまして、全面的な表土の戻しは難しいですが、一部のゾーンで表土の戻しを行うということで、この時は、意見交換は終了しました。その他では、平井川の環境調査の報告と平井川の整備工事（その31）の概要ということで、これは来年度工事を予定している区間の瀬戸岡御堂橋から代田橋までの左岸側の区間の工事の概要を説明させていただきました。

第2回小委員会は平成26年1月21日に開催されて、前回の勉強会のご意見をいただきまして、平井川しゅんせつ工事についてということで再度しゅんせつ工事の進め方について議論をしました。意見交換の結果は、表土については一部の区間を戻すということでまとまりました。それから平成26、27年度の観音橋上下流の工事についてということで、最終的に、兩岸施工については事務局から提案させていただいた通りに、この部分はやむを得ないということで了解していただきました。その他では、第8期の委員募集についてスケジュールを説明させていただきました。それから、本日開催しております第2回全体会については、工事現場を視察した後に意見交換をした方がいいのではないかという意見をいただきまして、現場視察をしていただいたところでございます。

この活動報告については、最終的には局のホームページ等に載せる形になります。それと簡単に第7期の活動を取りまとめた資料を別途作成して、一般の方にもPRできるものを作成した

と思います。これはカラー印刷でA3版の両面くらいのもので、毎年作成しているものです。一般の市民の方にも流連の活動を紹介するような形で使っていきたいと思います。これはまた第8期になりますが、次回に完成版を見ていただきたいと思います。よろしく願いいたします。以上です。

○座長 只今、事務局から第7期の活動報告をしていただきましたが、何かありますでしょうか。

○市民委員 平井川の北大久野川付近のしゅんせつ工事で出た土の件なのですが、秋川のグラウンドのサッカー場の近くに持ってきていますよね。東秋留橋下流右岸のところですか。しゅんせつ以降ずっと置きっぱなしになっていますが、それはどうなのですか。

○事務局 ちょっとその経緯は承知してないです。すみません。

○市民委員 平井川で出た土なので平井川で処理するのが良いとは思いますがね。他の河川に使えば流量とか問題が出てしまうと思うんです。しゅんせつして出た残土は、一箇所に集めないで少しずつ平井川の上流に持って行けば良いと思います。堆積した土というのは、上流から下流に流れてきたものであると思うので、上流に持って行けば川への負担は一番小さいと思います。検討していただいた方が良いと思います。

○事務局 秋川の土は秋川で処理するということで、深掘りしたところに戻すとかそういうことですね。漁業協同組合さんとの調整とかありますから、とりあえず残土の今後の検討はしたいと思います。

○座長 仮置きしている土砂の問題ということで・・・。

○市民委員 え、あれは仮置きですか。

○座長 仮置きではないですか。

○事務局 確か東秋留のところにある土は仮置きだそうです。

- 市民委員　　そうなんですか。でも、何年も前から置いてありますよ。
- 事務局　　とりあえず、どう処理するのが適切なのか検討します。
- 市民委員　　一箇所に集めないで上流に持って行くということでお願いします。
- 座長　　他にありますか。ちょっと私から質問するのもなんですが、活動報告の最初の委員公募の報告のところが間違っているんですよね。
- 事務局　　すみません。最初の委員公募の報告がいらないので消していただければと。
- 座長　　こちらの修正した資料は配るんですか。
- 事務局　　今日来ていない委員には修正したものを配りますが、来ている委員の方については今直していただけるとありがたいです。どうでしょうか。
- 委員全員　　それでいいです。

## ②平成 26 年度平井川環境調査の予定

- 座長　　それでは平成 26 年度平井川環境調査の予定について事務局から説明をお願いします。
- 事務局　　資料の方ですが、A 4 の横のものとホチキス止めの A 4 と A 3 の資料で説明します。  
それでは来年度の生物調査の予定について説明させていただきます。  
まず A 4 縦の表の全域調査についてです。毎年全域調査は項目を変えて行っていますけども、今年度は植物が主でしたが来年度は魚類と底生動物の調査を主に 11.3km 行わせていただきます。全域調査は河川環境調査、魚類・底生動物調査、鳥類調査、小動物調査、昆虫類調査の 5 種類あり、年ごとに変えていき一

巡となります。来年度は魚類・底生動物調査をします。

次に事前調査ですが、表のところ資料2-2参照と書かれています。これはA3資料のことで、間違いです。すみません。赤字は今までの調査と変更があった部分です。事前調査範囲についてですが、基本的に範囲は変わっていませんが、新たに菅瀬橋下流右岸と日の出橋下流区間が加えてあります。こちらは平成28年度工事予定区間となっていますので、今回事前調査に組み込ませていただきました。内容は、2kmの範囲は環境、植物、カヤネズミ、魚類底生、昆虫等で今までと変わらないです。今回取り組ませていただく平成28年度工事予定区間についてもベルトトランセクト調査と定点写真撮影を行う予定です。事後調査についても平成24年度に工事を行った範囲と平成25年度に工事を行った範囲については、継続して事後調査を行わせていただきます。

以上の話を表でまとめたものがA4横の紙になります。現在調査を行ったものは黒丸で表示してあり、今後調査を予定しているところは白丸で表示しています。すみません、訂正があります。表の一番下の事後調査の欄で、代田橋上下流の工事は平成24年度工事区間となっていて、平成26年度に工事が終了する予定ですので平成27、28年度については白丸を削除して下さい。また、瀬戸岡御堂橋上流右岸の工事は平成25年度工事区間となっており、平成27年度に工事が終了する予定ですので、平成28年度の白丸を削除して下さい。よろしくお願いします。

以上が来年度の環境調査予定についてとなります。

○座長            それでは、来年度の環境調査予定について何かご質問等ありますでしょうか。

○市民委員        平成28年度工事予定の区間における調査ですが、ベルトトランセクトは植物調査ですよね。それでもう一つ定点写真撮影を行うようですが、これは動物とかですか。

○事務局            いいえ、定点写真撮影は橋の上から植物の状況を写します。ですから、動物とかではないです。

○市民委員        そうであるとする、ここでは植物の調査しかやらないとい

うことですか。他の動物や昆虫、魚類等の調査はしないのですかというのが一点目。もう一点目が日の出橋下流ですが、これは兩岸工事を予定しているのですか。

○事務局       この区間ではベルトトランセクトと定点写真撮影を行いますという意味で、代田橋下流から日の出橋までの2kmの区間は河川環境調査から昆虫類調査まで一通り行います。

○市民委員      ただ、2kmの範囲でこれだけの調査を行うということは例えば魚類などポイントを絞って行うということですよ。

○事務局        ただ今までにここで調査を行ってきたという調査結果があるので、工事予定区間を中心に行っていきますけども。

○市民委員      工事区間中にポイントを置くんですよね。要するに工事の保全対策をつくるベースになるような調査がこの中で行われるということではないんです。

○事務局        そうです。そこら辺はきちんと毎年検討して行っています。それともう一点の日の出橋下流の方ですが、調査範囲は兩岸を一括りとしてやります。ただ、前回●●委員からご指摘があったわけですが、観音橋上下流については兩岸一緒にやります。それは色々な状況で、橋の架け替えなどがあって兩岸一緒に工事をしますが、日の出橋の方では工事は片岸ずつ行う予定です。ただどうしても圏央道の直上流にある下尾崎用水堰のところは兩岸一緒に施工しなければならないとは思いますが、またこの部分については後日説明させていただくことになるかとは思いますが、これから検討させていただきます。よろしく願います。

○市民委員      ありがとうございました。

○座長            他に質問はありますか。

③その他

○座長            その他ということで、事務局お願いします。

○事務局       その他は資料4の説明になります。前回観音橋上下流の来年度、再来年度にかけて実施する工事の内容の中で河床の材料、特に右岸側の景観について提案させていただいているのですが、当初我々は護床ブロックを再利用するという提案をさせていただいたのですが、それではまた今までと同じ害が出るだろうということで、今回再度検討して木工沈床を実施するという方向で考えています。

資料ですが、1枚目は平面図で平成26、27年度の2カ年で施工予定の範囲となっています。その中で護岸のみお筋の四角く並んでるマスが河床部分の設置位置になっています。もう1枚は横断図です。前回と違うのは、今回は河床部分が木工沈床となっています。前回、ブロックで提案したところ生物、景観的要因などで良くないということがありましたので木工沈床に再検討しました。最後のページですが、こちらは木工沈床の設置高さになっています。深掘れなしとブロックが散らばって深掘れしているところがありますが、深掘れしてないところは計画河床に木工沈床の天端が来るという形で、深掘れしているところは計画河床から1mくらい深いところに木工沈床の天端が来るような形で、壊れない、散らばらないように設置していけたらと考えております。

基本的に考え方としては現況の河床、平井川の測量をして河床の高さのデータがあるので、それを見ながら計画河床という整備すべきところまでの河床の高さがあります。それを比較して、計画河床より浅い部分、いわゆる深掘れしてないところは計画河床の高さで木工沈床を設置しようということ。一方、深掘れしているところは計画河床にこだわらないで、現況の河床の高さに合わせて木工沈床を設置しようということ。前回、行政委員（日の出町）の方から日の出で、木工沈床を設置したところ水が少なく頭が出てきてその部分が腐って中身が出てきてしまったとのことで、木工沈床を行うのであれば気を付けて下さいというご指摘をいただきました。それを加味しながら検討した結果が今日の提案となります。以上です。

○座長       前回の宿題である根固工についてですが、事務局より木工沈床ということで、計画河床にこだわらずに現況の河床が掘れて

いるところはそれなりに木工沈床の高さを工夫して、右岸側の水衝部のところに施工したいという説明ですが、何かご質問はありますか。

○市民委員 何人かの委員から要望した木工沈床を検討して下さり、ありがとうございます。三つほど質問があります。

一つ目は、木工沈床はただ置くだけで固定しなくて良いのかということと、二つ目は図面を見ると72cmあるということですが高さがどのくらいあるのか教えていただきたい。水位が下がると頭が出てしまうのではとちょっと思ったので。それと希望になってしまいますが、多摩産材は使うことができないのかということですか。

○事務局 まず木工沈床の置き方ですが、置くだけです。連続して組んで工事を行うので、要は連続帯の構造になるので、多少の洪水程度であれば流れることはないかと思います。木工沈床の高さについてですが、72cmの高さです。

○市民委員 72cmということは、場所によっては水位がないところもありますが。

○事務局 計画河床を天端にするということですから水位が多少でもあればそこを水が流れていくことになると思うので。一マス2m×2mの正方形のものでそれを並べていく形になります。木工沈床の中には玉石を入れます。一つ当たり30cmから50cmのもので考えています。全体的には一マス2mなので3枚目に示していますように二マス並べるので、幅は4mとなります。

基本は河床の高さが木工沈床の天端にするので、少しの水があれば問題ないかと。それと多摩産材については検討させて下さい。

○市民委員 多摩産材を道路や木製の柵などに積極期に使用している事例など話す。

○座長 それでは多摩産材が使えるかどうか、水の中にずっと浸っているものなので材質的に使用できるのかなど確認が必要

ですね。

○事務局　　今回の見直しの中で、現況河床の高さが計画河床の高さより低いところについては、そこを木工沈床の高さにしたというのは良かったと思います。つい計画河床で作りがちなのですが、平井川が作った現況の高さを守って、瀬とか淵が残されていくということを考えて深掘れしたところは今の現況河床の高さにしようという風にしました。その結果、3ページ目の護岸の長さが計画よりも長くなっていてお金もかかるのですが、やはり今の淵や瀬を大事にしていこうとしたわけです。

○市民委員　　深掘れなしとありと書いてありますが、どっちにするんですか。

○事務局　　現況の河床が計画河床よりも低いところ、つまり深掘れしているところは現況河床に近い形で木工沈床を設置する、つまり淵が残るということです。

○座長　　2ページ目の図を見て下さい。一番上の図は計画河床高と木工沈床の高さがほとんど一致しています。これはつまり深掘れなしということです。真ん中の図は計画河床高より深いところに木工沈床がありますね。そういうことで現況の河床高に合わせて木工沈床の高さを変えて行くということです。2パターンですね。

○市民委員　　従来のやり方だと深く掘れているところは埋めちゃって、計画河床高にして、その上にものを置いていたということですか。

○事務局　　従来のやり方というか、少し前はそういうこともあったということですね。

○座長　　他にありますか。なければ来年度、再来年度に工事を実施する観音橋上下流の根固工は木工沈床ということでよろしいですね。

○市民委員　　階段ですが木製で作ってあるんですが、それは何年くらい使

えるんですか。菅瀬橋の横のところの道路のガードレールを多摩産材で作ったのですが、今は腐ってしまっていてとりかえている状態なんです。この平井川の階段も多摩産材で作っていただいているようですが、怪我でもされたら困るのでどのくらい持つのか、またどれくらいでとりかえるなどそういう情報を教えていただきたい。

あと、小宮久保のさいの神用地を●●さんが作って下さったんです。とりあえず仮に作ってくれたんですけど元の現況に戻さなければならないということで重機を使って●●さんが平らに戻したようなんですが、そうすると来年困ってしまうので、来年の12月くらいの中に再度作ってもらえば特に何も困ることはないのだけど、検討していただきたい。真ん中の中州が山になってるから町内で平らにするのは辛いです。また自然保護団体にカヤを抜いては駄目だと言われても困るし。用地がない時にはみお筋のところを橋を架けて中州にいった年もあったんですが、現状でやるしかない場合、橋は長くしないといけないし、残ったところを平らにしてカヤネズミがいるようなものまで全部抜いて町内でやらなくてはならなくなっちゃうので、ご検討をお願いします。

○市民委員　今の件ですけど、現況復旧というのは左岸側の法面のところへすぐ水が流れているんですけど、幅が4、5m あったんです。うちでも15日に溪流の解禁があつて釣りが始まるんですけど、左岸側では釣りができないということになってしまいますよね、法面に乗らないとできないわけです。いずれにしても工事が終わってしまうとそれから新しいことをしようとしても無理だと思うんです。だったら今まであった陸地のあった幅くらいのを作っておいてもらいたいんですよ。

○事務局　今日現場行って道路から鉄板が敷いてあつて下に下りられるようになってましたが、あれは仮の搬入路なんですよ。ですので、それを取っ払うと元に戻るはずなんです。

○市民委員　鉄板よりちょっと上流に堰があるんですが、あそこからずっと広い土手というか法面から4、5mくらいの道があったんですよ。そこで釣りができたんです。搬入路のところをちょっと土

を持ってくるくらいでは無理なんです。あと、高さも低くなっています。

○事務局　この工事が終わるとあの坂道はとってしまうので、その場所  
は使えると思うんですけど。

○市民委員　それはそうだけでもその上流側がないということね。

○座長　工事に着手する前にあった高水敷は今搬入路として使っていて、  
今年のどんど焼きをするのにその場所がなくなったから上流側を埋めてその場所  
を使っただいて、その後元に戻すということからその場所を掘って元に戻して、  
今通路になっているところは元通り鉄板を剥がして直せば、その高水敷の方は元  
通り直ると思います。事務局もそういう意味で言っていると思うんです。とり  
あえず図面がないのでどこをどのようにして元に戻すのかについてわかりにくい  
ので、図面を用意してからどのように元に戻すのかについて説明したら良いのか  
なと思います。

○市民委員　私の言っている元に戻すということと、事務局の方で言っ  
ていることはずれています。

○座長　どちらにしても今は図面もありませんし、この場で話しても  
どう説明することもできないので、時間もないですし、また次回ということ  
でよろしいですか。

○市民委員　いえ、将来的にという話ではなく 15 日から行うので、すぐ  
に話さなければならないんです。

○事務局　工事前に小宮久保自治会長と我々お話ししまして、ここに搬  
入路を造りたいとお願いしたら、ここはお花畑いっぱい運動をやっているから  
と言われて、じゃあここに造りますよ言ったらどんど焼きをやっているからと  
言われました。ただその上流側に広場を作っただけであれば良いという話をさ  
れて、そこに作らせていただきました。どんど焼きをやっただくためにその  
広場を作ったので、もちろん工事が終われば元に戻ることにな

りますとお話させていただきました。

○市民委員　でも来年の行事ができるか心配ですよ。

○事務局　それは自治会長さんも心配されていました。

○市民委員　じゃあなおさら心配だ。●●さんがローラーで固めて平らにした土をユンボで穴を掘ってくれたんです。だから今回楽にやらせてもらったんですけど、それがなくなってしまったからできるか心配。

○事務局　なくなったというか元に戻っただけなんですけど。

○市民委員　上流から下流になり写真に撮ってもらっていると思うんです。それ見れば上流から下流にかけて空き地があったのは明らかなんです。砂利が堆積したものなんですけど。だから一番簡単なのは、今ある川幅をもっと中央よりに寄せて石をもっとこっちに持ってきてもらえれば人が通れるとかやり方があると思うんです。さっきも言いましたが15日の話なので。

○市民委員　工事って14日まででしたよね。

○事務局　そうです。

○市民委員　でも14日までには終わらないでしょ。

○事務局　申し訳ありませんが、今日は工事担当がいまないので、お答えできません。とりあえず現場を担当している者から明日明後日辺りに連絡するよう伝えます。

○市民委員　第8期公募委員についてですが、定員はあるんですか。

○事務局　特に決まっていませんが、もう少し人数が増えると個人的には嬉しいかなと思っています。

○市民委員　作文書けと言われてもなかなか難しいから人が集まりにくい

と思うんですよね。

○事務局 作文は無くすことができませんのでどうぞよろしくお願いします。

○市民委員 ●●委員の言っていた階段についてですが、木で作った階段が多くて、多分10年も保たないと思うんですよね。新開橋の上流の右岸側も木で作った階段がありますが、結構グズグズになってしまっているんですよね。ただ階段は作っても人が全然利用しなくて朽ちてちょうど良くなってるところもあるんですよね。また草花小学校のところにある立派なコンクリートの階段を作っていただきましたが、横になだらかな斜面ができて子供達もそっちを使うことが多くてコンクリートの階段はほとんど使われていないんです。私は木で作って、でも木で作る以上は良く使われる階段は壊れてきたら補修するとかしないとやっぱり木で作った階段は危ないねという風に思われてしまうので、木で作って補修するという風にしたら一番良いと思います。

○市民委員 多分草花小学校のなだらかな斜面ができたのはオートバイが入ったからですよ。モトクロスの練習をするために。その後ほとんど来てなかったんです。それで崩れたんです。多西橋の上流のコンクリートのところも何回かやってみました。

○座長 木製の階段の維持管理というのも我々河川管理者としてもそれらの維持管理は使命の一つであると思いますので、皆様の意見を参考にさせていただきながら適切に管理をしていかなければならないと思います。

### 3. 閉会

○座長 それでは、最後の締めとして委員の皆様一言ずつお願いしたいと思います。

まず私から申し上げますと、今年度座長を務めさせていただきましたが、こういう大々的なところで座長を務めたことがなく今回が初めてで、なかなか上手く会の運営等できなかったかなと反省しています。川づくりの中で皆様のご意見をいただきながらできないことはできないとなる場合もありますが、意見

をいただきながらいい川をつくっていかうということについては、管内の中でも平井川しかやってないということでもありませんので、また次年度以降座長を務める機会がありましたら、もう少し勉強して円滑に進められるよう頑張りたいと思います。1年間ありがとうございました。

○市民委員 平井川は良い川なので来年度もやりたいと思います。以上です。

○市民委員 初めて委員にならせていただいて余計なことも言ったかもわかりませんが、平井川の川の水を使わせてもらっているという立場で参加させていただきましたが、自分の地元でもありますので来年度も参加させていただきたいと思います。

○市民委員 私は前の支部長が途中で体を壊してしまったものでそれから参加させていただいてるんですが、これが初めてではありましたが、今までのやり方の話はおおよそ聞いてはいました。それで出てきて話をしてみたらこれが基本になって川づくりの話ができるのかと思ひまして、来期の場合は私一人ではなくて皆が出て来るようなやり方にしたいと思って日の出町の方にも声をかけて、多西支部でもあと1名くらいは出てきてくれと言っているんです。もし定員がなければ各町内会から1名ずつでも出ていただければ色々な意見がもっと出てくるのではないかと思います。これが私の実感でした。

○市民委員 昨日観察会をやって子供達がギバチやトンボなど色々な絵を描いてくれて、子供達は生き物が賑わう川が大好きなんですね。流連の中で環境保全とかそういうことをやることで今の環境が保たれていると思うんです。長い目でどういう川を作っていたら良いのかについていつも念頭に置きながら議論する、そんな平井川の流域連絡会であつたらいいなと思います。

○市民委員 去年は正直やめようかと思っていました。でも役所の主催する会としては市民の意見を一番取り入れてくれているのかなと思います。今日の会議でまた来年もやろうかなと思いました。

○市民委員　私もちょうどこで4年間参加させていただきましたが、今日も現場を視察してここで議論したことを真摯に受け止めてやっていただいたという感想を持ちました。チガヤマットや去年の湧水対策、表土の埋め戻しとかよく取り入れてもらってると思います。これからはさらに一つのこと、例えば草刈とかいつの時期とかあると思うんですが、草刈だったら草刈を突き詰めて、平井川ではどういう風に草刈が行われているのか、どういう植生のところが草刈しなくても皆さんに喜ばれるのかとかもっと煮詰めてやった方がいいと思いました。また、今までの議論の中で右行こうか左行こうかという論争になった問題もあると思いますが、そういったところをピックアップしてそのポイントを絞って、そこを下流から見て現在どうなっているのかというような形で、そういう認識のもとでやっていったらいいと思いました。どうもありがとうございました。

○行政委員　都市計画課長の●●です。川の環境は初めてですが、平井川は大分有名な川なのでこのような形で守られているんだなと感じました。簡単ですが、私からは以上です。ありがとうございました。

○行政委員　今年で終わりですので来年から来ませんが、平井川は家の近くの遊歩道を散策する方も多いので、片方からは草を植えてくれという意見と遊歩道に家が近い方からは草を刈ってくれという意見があります。その境がなかなか難しいものだと思います。確かに川の自然は良いと思うんですが、その中から蛇が出るとか様々な苦情が市民から寄せられるので、そういうことも含めて良い川をつくっていかれたらと思います。

○座長　ありがとうございました。それでは第7期後期の全体会を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。